

平成 26 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	会田宿及び周辺の街道の景観形成事業
事業主体 (連絡先)	会田宿町並み委員会 (松本市会田 650 代表 宮川 昇) 問合せ: 0263(64)2451 事務局: 溝口
事業区分	主: (5) 環境保全及び景観形成に関する事業 関: 地域の財産を後世に
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,241,000 円 (支援金=1,745,000 円)

事業内容

- 県天然記念物に指定されていた樹齢 350 年の千本松が松くい虫被害で枯れ伐採された。人々にとって大変思い入れのあった樹であった。会では松を保存・展示しようという声上がり、地域住民に呼びかけ多くの方々から賛同を得、残された根元部分、幹を使用した「道祖神」の製作、展示施設のあずまやを建設し完成をみた。
- 「千本松を惜しむ物語」冊子刊行。A4×20 頁、元気な頃の千本松からこの事業の経過を追った。オールカラーにし、住民の方からの投稿、松くい虫のミニ知識なども載せ、沢山の写真も掲載した冊子となった。



◆写真上から、生前の千本松
あずまや、展示した
「道祖神」「千本松根元」「仁王像」



事業効果

- 会田宿の中心に建てられたあずまやには、巨大な千本松の根元部分、いずれも幹を材料として利用した「道祖神」と「仁王像」、在りし日の千本松の写真が展示された。今もこれからも多くの人々が訪れてくれると思う。この事業が新たな歴史を生み、継承され、会田宿の名所として存在してゆくことを切に願う。

今後の取り組み

- 今までの事業において、灯籠、水屋、今回のあずまやと、景観と街づくりを実施してきた。今後は、設置したそれぞれの施設の維持管理が問題となってくる事が予想される。会では、この問題を解決すべく活動を続けてゆく。継続が大切と考えるものである。

【目標・ねらい】

- 景観の形成
- 地域の宝を後世に残す
- 来訪者の増加
- 地域への啓蒙

自己評価 (目標達成率) 【A】

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70～89%「C」50～69%「D」49%以下で示すこと。